

キタ！からきた



だより

第184号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。

kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

＜大阪北支部・会員リレー紹介 063＞

レポーター（奥田教之）



今回ご紹介するのは、高齢者介護事業会社の役員兼 NPO 法人の代表をされている、近藤量行さんです。

NPO 法人では“地域で多様な人々がつながり、互いに支え合うコミュニティづくり”を目的として、子ども食堂や息抜きカフェ、いきいき百歳体操、スマホサロン、リユース・フードパントリー事業、認知症カフェ、生活支援サービスなど多様で多彩な事業を展開されています。喜んでもらえたときや、効果を感じられたときにやりがいを感じる一方、支援の難しさや制度の不十分さを感じることも多く、地域活動を実りあるものにするためには様々な立場や機関との連携が不可欠だとおっしゃっていました。

不動産や建築関係の営業をされているときに障がいのある方のグループホームに出会い、地域福祉に携わる人たちと交流するうちに実際のソーシャルワークに魅力ややりがいを感じ、実践を学ぶために社会福祉士を取得されたとのこと。

それぞれの居場所で活動する多職種と情報や想いを共有して共通の目標に近づくことと、「困りごと」を抱える人への個別支援と誰も取りこぼさない地域を目指す地域づくりの両面からの視点の両輪とを回すことで持続可能で包摂的な地域共生社会の実現を目指すことを、社会福祉士として大切にしていきたいとお聞きしました。

学生時代はボート部に所属され、現在でも月1回大学のボート部でコーチもされているという近藤さんから、「NPO 法人では、他の団体と連携することで活動の幅が広がった事例がたくさんあります。

どんどん対話して多様な団体との連携の道を模索していきたいので、今後はさまざまな機会に積極的に参加して、対話を通して情報共有し、協働できそうなポイントを探したいと思っています」とのメッセージをいただきました。終始丁寧にインタビューに答えてくださった姿が印象的でした。ありがとうございました！



大阪北支部 司法福祉研修（第1回）報告「再犯防止と矯正施設の現状」

今年度初めて取り組む司法福祉研修の第1回目が9月23日に行われました。締め切りまでに定員一杯になる反響を頂きありがとうございました。資料のボリュームに圧倒されながら講師の分かりやすいお話を追う内に時間が経過していき「拘禁刑が6月1日から施行された」等新しい情報も知ることができ、グループワークでは活発な議論も行われました。タイムスケジュールでは質疑応答の時間は入っておらず、急遽当日設定させていただきましたが、講義終了後も沢山の方が講師と名刺交換や質問に来ていただき、皆さんの関心の高さを感じました。あと2回研修は続きますが、より多くの方に司法福祉を学んでいただきたいと思います。



★大阪北支部公式 LINE アカウントのお知らせ（※他支部の方の登録也大歓迎です！！）

情報が早い！情報が手元に届く支部公式 LINE です。紙の広報誌よりも早く情報が届きます。

LINE 「友だち追加」から、ID 検索「@712abvel」するか QR コードをスキャンしてください。

